【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2015-31903(P2015-31903A)
【公開日】平成27年2月16日(2015.2.16)
【年通号数】公開・登録公報2015-010
【出願番号】特願2013-163042(P2013-163042)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　26/00　(2006.01)
Ｂ２３Ｋ　11/06　(2006.01)
Ｇ０１Ｊ　3/26　(2006.01)
Ｇ０１Ｊ　3/51　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　26/00
Ｂ２３Ｋ　11/06　５４０
Ｇ０１Ｊ　3/26
Ｇ０１Ｊ　3/51

【手続補正書】
【提出日】平成28年7月22日(2016.7.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
台座部及び前記台座部に交差するように配置された側壁部を有するベースと、
前記側壁部の上の面に配置された金属枠と、
開口部を有し、前記金属枠の上に配置されたリッドと、
前記開口部を覆う透光部材と、
前記ベースと前記リッドとの間に配置された光学素子と、
を含み、
前記透光部材は、前記金属枠の前記リッドに面する第一面における外周端と、前記リッドの前記金属枠の側と反対側の前記第二面における外周端とを結ぶ仮想直線と交わらないことを特徴とする光学デバイス。
【請求項２】
請求項１に記載の光学デバイスにおいて、
前記ベースの上から見た平面視において、前記リッドの外周端から前記透光部材の外周端までの最小距離は、１．５ｍｍ以上であることを特徴とする光学デバイス。
【請求項３】
請求項１又は請求項２に記載の光学デバイスにおいて、
前記リッドの厚みは、０．１５ｍｍ以上であることを特徴とする光学デバイス。
【請求項４】
請求項１又は請求項２に記載の光学デバイスにおいて、
前記リッドは、前記金属枠に接合されるリッド接合部と、前記リッド接合部よりも前記開口部の側に設けられ、前記リッド接合部よりも厚みが大きいリッド本体部と、を備えたことを特徴とする光学デバイス。
【請求項５】

請求項４に記載の光学デバイスにおいて、
前記リッド本体部は、前記仮想直線と交わらないことを特徴とする光学デバイス。
【請求項６】
請求項４又は請求項５に記載の光学デバイスにおいて、
前記リッド本体部の厚みは、０．１５ｍｍ以上であることを特徴とする光学デバイス。
【請求項７】
請求項１から請求項６のいずれかに記載の光学デバイスにおいて、
前記光学素子は、互いに対向する一対の反射膜を備えたファブリーペローエタロン素子であることを特徴とする光学デバイス。
【請求項８】
請求項１乃至７のいずれかに記載の光学デバイスと、
前記光学デバイスからの光を受光する受光部と、
を含むことを特徴とする光学モジュール。
【請求項９】
請求項１乃至７のいずれかに記載の光学デバイスと、
前記光学デバイスを制御する制御部と、
を含むことを特徴とする電子機器。
【請求項１０】
台座部及び前記台座部に交差するように配置された側壁部を有するベースと、
前記側壁部の上の面に配置された金属枠と、
開口部を有し、前記金属枠の上に配置されたリッドと、
前記開口部を覆う透光部材と、
を含み、
前記透光部材は、前記金属枠の前記リッドに面する第一面における外周端と、前記リッドの前記金属枠の側と反対側の前記第二面における外周端とを結ぶ仮想直線と交わらないことを特徴とする光学筐体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の一態様の光学デバイスは、台座部及び前記台座部に交差するように配置された側壁部を有するベースと、前記側壁部の上の面に配置された金属枠と、開口部を有し、前記金属枠の上に配置されたリッドと、前記開口部を覆う透光部材と、前記ベースと前記リッドとの間に配置された光学素子と、を含み、前記透光部材は、前記金属枠の前記リッドに面する第一面における外周端と、前記リッドの前記金属枠の側と反対側の前記第二面における外周端とを結ぶ仮想直線と交わらないことを特徴とする。
本発明の光学デバイスは、側壁部により囲われた凹部を有するベースと、前記側壁部上の端面に接合され、前記側壁部との接合面とは反対側の第一面を有する金属枠と、前記金属枠に接合され、前記金属枠との接合面とは反対側の第二面、及び開口部を有するリッドと、前記リッドに接合され、前記開口部を閉塞する透光部材と、前記ベースの凹部に載置された光学素子と、を備え、前記透光部材は、前記ベースの前記凹部の深さ方向に沿った断面視において、前記金属枠の前記第一面における外周端と、前記リッドの前記第二面における外周端とを結ぶ仮想直線と交わらないことを特徴とする。